

◇ 博物館だより ◇

ブラザー コミュニケーション スペース
(Brother Communication Space)

〒467-0851 名古屋市瑞穂区塩入町 5-15

<http://www.brother.co.jp>

TEL:052-824-2227

FAX:052-824-2069

E-mail:bcs@brother.co.jp

1. 新展示館建築の経緯

名古屋市の中心部からやや南に位置するブラザー工業(株)本社ビル(瑞穂区)から堀田の交差点を挟んだ斜め向かい側に2005年3月、以下のような事情と効果を期待して新展示館(博物館ではありません)、ブラザーコミュニケーションスペース(以下、BCS)をオープンしました。

① 従来のショールームの閉鎖

これまで工場の一角に設けていたショールームを閉鎖したため、それに替わる製品展示施設が必要である。

② 情報発信拠点の必要性

現在弊社の売り上げ構成のほぼ4分の3は情報通信関連機器が占めているにもかかわらず、国内においては「ブラザー＝ミシンの会社」のイメージが強く、現実とイメージとの差の解消に資する施設が必要となった。

③ 愛・地球博の開催

2005年3月から21世紀最初の万博が愛知県名古屋東部丘陵において開催。世界各国から1500万人の来場者が訪れると予想され、その方々にブラザーの正しい姿を知っていただく絶好の機会である。

と考案建設いたしました。施設は敷地面積2644.28㎡、建築面積946.34㎡でコンクリート打ちっ放しの1階建です。中央部に芝生と植栽を植えた庭を囲む緑の多い建物で、周囲の町並みと調和し威圧感を与えない優しいデザインとなるよう配慮しました(図1)。

2. 新展示館(BCS)概要

BCSはショールームを兼ねた社内向け施設であり、館内は3つのゾーンで構成されています。

① コミュニケーションゾーン

縦2m、横6mのスクリーンを備えた多目的ホールとして利用可能なミニシアタールームです。通常は会社案内映像と未来のビジネススタイルを想定した映像をご覧ください。



図1 BCS外観

② ヒストリー&テーマゾーン

入口で設立趣意書を背景に創業者兄弟が志した創業の精神をパネルと映像で紹介するとともに、現在に至る製品開発の歴史を技術の発展ごとに時代を区分して、時代背景を映像で概観していただきます(図2)。また、それぞれの時代の当社のエポックメイキングな製品も展示しております。さらにゾーン中央では、ひとつのテーマを掘り下げた企画展を期間限定で開催しております。

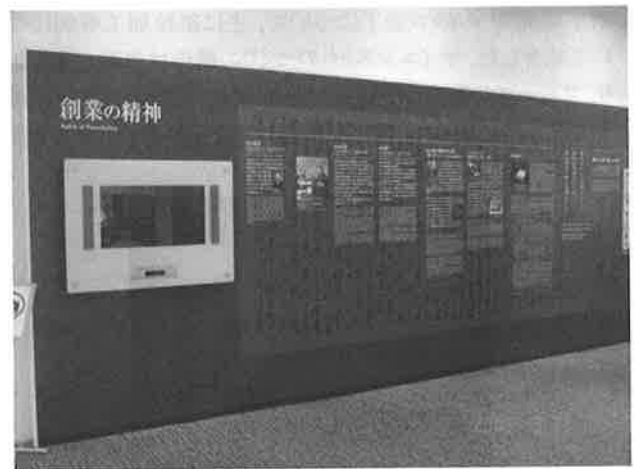


図2 創業の精神の説明パネル

③ワークスタイル提案ゾーン

現在の情報通信関連の主要製品および新製品を展示したゾーン(ショールーム)です。ブラザー製品がどのように使われているかをあらかずビジネスシーンのグラフィックスを背景に、実際に使用し体験できるゾーンです。中央部にはブラザーが提案する“快適な SOHO 空間”を提示しております。また、弊社のコンテンツ事業の中心となっている JOYSOUND(通信カラオケ)ポケメロの体験コーナーを設け、(株)XINGを紹介しています。

3. ヒストリーゾーンの展示物について

この展示館オープンに際してはミシンをはじめ、タイプライターやFAX、複合機(MFC)の展示はもちろんのこと、『麦藁帽子製作用水圧機』を展示しました(図3)。これは創業者兄弟がミシン生産に必要な材料や工作機械を自作するための資金源として開発・製造したもので、この機械ぬきには当社の歴史を語ることはできません。

展示していますこの機械は1998年にビジネスパートナーへの感謝の式典を催した際に昔の製品の情報提供をお願いしましたところ、近所に現存することが判明しましたので譲渡をお願いし、稼動できるまでに修復したものです。



図3 麦藁帽子製作用水圧機

また、弊社はそれまで培ってきた精密加工技術を活かしてバイクの製造を手がけていた時期があります。昭和31年のことです。『ダーリン号』と命名されたバイクは50ccおよび80ccのモデルの試作を終え、いざ量産という段になって昭和34年に襲来した伊勢湾台風により工場が浸水の被害をこうむり生産設備が水没、修復不能となりやむなく生産を断念した、という歴史があります。感謝の会の展示品として幻の『ダーリン号』を展示したく探しましたが、残念ながら現存するものは見つからず断念しました。しかし後日、地元テレビ局の番組のご協力で情報提供を呼びかけましたところ、近隣のバイク愛好家がエンジンを保存してくださっていることがわかりました。寄贈いただいた『ダーリン号のエンジン』も展示いたしております。

4. 利用状況と今後の活動

オープンを万博の開幕に間に合わせたこともあり、世界各国の多くの方々に来館いただいております。また、多目的ホールとしてデザインしたコミュニケーションゾーンでは、新製品の記者発表や各種会合のプレゼンテーション等、さまざまな用途にご利用いただいております。

展示品および収集品は不十分で博物館の呼び名をいただくには遠い道のりですが、いずれ博物館の呼称をいただけるよう、整備充実を図りたいと考えております。

【施設のご案内】

所在地：〒467-0851

名古屋市瑞穂区塩入町5-15

電話：052-824-2227

FAX：052-824-2069

開館時間：10時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：会社の休日(土・日・祝日他)

見学申込：事前予約制

入館料：無料

団体見学：事前にお問い合わせください

交通経路：名鉄名古屋本線 堀田駅から徒歩2分

地下鉄名城線 堀田駅から徒歩3分

駐車スペース：大型バス3台、乗用車6台

詳細情報：<http://www.brother.co.jp/jp/bcs> 参照

(文責：水野俊明)